



鳥取久松ライオンズクラブ
認証55周年記念特集号



認証55周年 記念大会を終えて

会長 上杉 榮一



鳥取久松ライオンズクラブの大事業である「認証55周年記念事業・記念大会」は会員の皆様のご協力のもと、無事終えることができました。

5年前の認証50周年はコロナ禍のため式典は中止となり、鳥の劇場への支援金の贈呈のみとなりましたが、今回は10年ぶりに記念式典を開催することができました。

認証55周年記念事業として、「一般社団法人麒麟のまち地域食堂ネットワーク」への支援を決定し、4月19日に鳥取市人権交流プラザのホールで「がんばれ地域食堂!鳥取場所ダンボール相撲大会」を開催しました。

当日は、市内各地の地域食堂の利用者の皆さま、運営スタッフおよび支援企業の皆さまにご協力いただき、大盛況のうちに記念事業を終えることができました。取り組みでは白熱した勝負が続き、会場は歓声と笑顔で包まれた相撲大会となりました。

翌週、認証55周年記念式典を白兔会館で開催することができました。来賓としてお招きした「麒麟のまち地域食堂ネットワーク」共同代表 羽場恭一氏には活動支援金を贈呈いたしました。

55周年記念事業として、麒麟のまち地域食堂ネットワークへの支援のほか、クラブ発足当初から続いている「敬老ボーリング大会」、LCIF1000ドル寄付の三つの事業を記念事業として取り組みました。

記念式典には、336複合地区GLT地区コーディネーター・キャビネット副幹事 池田康利氏、元地区ガバナー 西尾慎一氏をはじめ多くのブラザークラブの皆さまにご出席いただき、厳粛な雰囲気の中で式典を終えることができました。式典後の祝賀会、そして二次会にも多くの会員に参加いただき、大いに盛り上がりました。

この度の記念事業の取り組みを通じて、会員同士の絆が一層強くなったように感じました。若い会員が中心となって、我がクラブが益々活性化していくことを望むものです。





認証55周年 記念大会を終えて

認証 55周年記念大会実行委員会
委員長 木谷清人



このたび、鳥取久松ライオンズクラブ認証55周年記念大会を4月25日に白兔会館において開催いたしましたところ、多くのご来賓の皆様、ならびにゾーン内ブラザークラブの皆様にご臨席、ご参加を賜り、盛会のうちに終えることができました。実行委員長として、心より厚く御礼申し上げます。

当クラブが誕生した1970年は、高度経済成長のまっただ中にあり、日本万国博覧会が大阪で開催された年でもありました。日本全体が未来への希望に満ち、より豊かな社会の実現を信じて歩みを進めていた時代でした。それから55年余りの歳月が流れ、社会情勢や人々の価値観は大きく変化しましたが、地域に奉仕し、人と人との絆を育むというライオンズクラブの精神は、今も変わることなく受け継がれています。

創立当時に尽力されたチャーターメンバーの皆様はすでに鬼籍に入られましたが、その先人たちが築かれた歴史と伝統は、確かに私たちの中に生き続けています。私たちはその志を受け継ぎ、さらに次の世代へと引き継いでいく責任を担っています。

今回の55周年記念事業として開催した地域食堂応援プロジェクト『がんばれ地域食堂!鳥取場所ダンボール相撲大会』では、新しい会員の皆様を中心となって企画・運営に取り組み、大いに活躍してくださいました。その姿は大変頼もしく、クラブの未来に明るい希望を感じさせるものでした。この事業を通じて、世代を超えて力を合わせることの大切さと、新たな担い手が活躍する機会を創出することの意義を改めて実感いたしました。

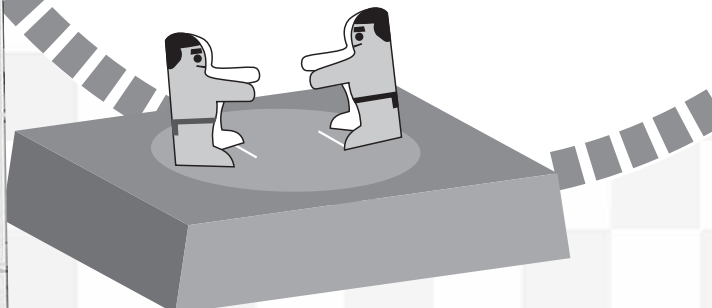
次の節目は60周年で「還暦」にあたり、新たなスタートを意味する節目でもあります。55周年を通過点として、私たち鳥取久松ライオンズクラブが「We Serve」の精神を改めて胸に刻み、地域社会への奉仕活動をさらに充実させながら、大きく飛躍していくことを願っております。

結びに、このたびの記念事業並びに記念式典の開催にあたり、多大なるご協力をいただいた会員の皆様に心から感謝申し上げます。皆様のお力添えによって、55周年にふさわしい意義深い大会とすることができました。本当にありがとうございました。



認証55周年記念事業
— 地域食堂応援プロジェクト —

『がんばれ地域食堂！
鳥取場所
ダンボール相撲大会』





記念事業委員長 吉森 英樹

4月19日(日)鳥取久松ライオンズクラブ認証55周年記念事業として、麒麟のまち地域食堂応援プロジェクト「がんばれ地域食堂!鳥取場所ダンボール相撲大会」を開催しました。地域食堂と支援団体が一緒になって交流し、絆を深めることで、住みよいまち鳥取市をめざすことを目的とした事業です。

各地域の食堂を代表して、高さ1.5メートルのダンボール力士を持ち寄り土俵入りし、支援団体の皆さんには行司と審判として参加していただきました。「はっきょーい、のこった!」の掛け声とともに取り組みが始まると、参加者が土俵まわりを叩いて力士を動かし、7チームによる熱戦が繰り広げられました。会場には寄席太鼓や相撲甚句が流れ、本場所さながらの雰囲気の中、白熱した勝負のたびに大きな歓声が上がりました。

表彰式では優勝チームのほか、全チームに特別賞と副賞を贈呈しました。子どもたちは創意工夫しながら楽しみ、地域のつながりもいっそう深まる、温かい交流イベントとなりました。最後に司会者が「またやろうぜ!」と呼びかけると、会場の全員が「イエー!」と応え、笑顔と拍手の中で閉会しました。



鳥取久松ライオンズクラブ 認証55周年 記念事業

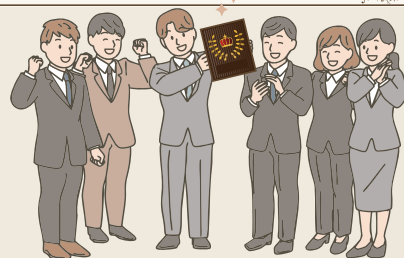
- ◇『第50回鳥取市敬老ボウリング大会』主催
- ◇LCIFへ\$1000寄付
- ◇地域食堂応援プロジェクト
『がんばれ地域食堂!鳥取場所 ダンボール相撲大会』主催
- ◇麒麟のまち地域食堂ネットワークへ特別支援金10万円贈呈



第50回鳥取市敬老ボウリング大会



LCIF \$1000寄付記念盾



麒麟のまち地域食堂ネットワークへ
特別支援金贈呈

編集後記

わが鳥取久松ライオンズクラブも認証55周年を迎えました。認証当時とは、メンバーは言うまでもなく社会背景そのものも変化しております。鳥取久松ライオンズクラブの役割も現状に則して変化していきますが、その一方で不変の価値というものもあるように思います。そして、その不変の価値こそがライオンズクラブ活動を永続させる力の源泉となるのでしよう。認証100周年を迎えることができますよう祈念します。

認証55周年 記念大会

広報・記念誌委員会

委員長 上田 雅稔
副委員長 前田 伸一
委員 吉川 利雄